



核兵器のない世界の構築を目指して!

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウオー



22日 LI 校のオーディトリウムで被爆体験者のお話を聞く会が行われました。お出で頂いたのは、木戸季市（きどすえいち）さんという方で、日本原水爆被害者団体協議会の書記局次長をされている方です。国連で今月7日に開催された国連会議「NPT会議」に出席されるためと、3日から6/22まで国連で行われている被爆展示のお手伝いをされるために来米されたとお聞きしました。

講演は4校時には、初等部3年生から6年生まで、午後は中高等部



部と2回に分けて行いました。学年があがるほど、落ち着いてお話を聞くことができている様子を見て取ることができました。人数も少なく、講師の先生がステージから降りて、ステップに腰掛けて同じ目線で語りかけたのが良かったのかもしれませんが、先生が持参してくださった、長崎市の発行している写真集を生徒の席に回覧したのも視覚による刺激も加わり、強烈な印象を子どもたちに与えた結果かもしれ

ません。終わった後、先生と握手して会場を後にする生徒の中には、涙ぐんでいる子も見えました。短い時間でのことですが、大きな感動と衝撃が走った50分間でした。

先生はわずか5才の時に長崎で被爆され、大変悲しく辛い経験をされました。若い頃には結婚をあきらめなければ、と考えられたり、被爆者であることで偏見と差別の目にさらされたりと、言葉では言い尽くせないことが言外に語られました。子どもたちからの質問の中に、「先生はその後ご家庭を持たれたのですか？」というものがありませんでした。「反対はされましたが、家内と結婚することができました。それに娘もでき、最近結婚もしました。」と先生がお答えになると、会場から大きな拍手が起きました。辛いお話の中に、幸せの光を見いだした思いで、きっと拍手が起きたのだらうと感じました。

また、生徒から核心を突く質問が出されました。「そのとき、先生はアメリカを憎いと思いませんか?」それに先生はすぐさま、こう答えられました。「そう思っ

職員退職のお知らせ

長年中高等部でご活躍いただいた先生が、退職されました。

先週 WTA 校中高等部中1担任の梶井先生から5月13日付けの退職届が届き、突然でしたが退職されました。このことについては、先週の19日付の保護者会メールで関係の保護者の皆様にはお伝えしたところです。

今後できるだけ早く後任の担任を配置できるように取り計らっていきたく思います。子どもたちや保護者の皆様にもご心配をおかけすることになります。事情をご賢察の上、ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

校章の展示・投票始まる！

先週 22 日に校章選考委員会が開かれました。予定通り子どもたちに見てもらい、できればデザインの趣旨も読んでもらって投票をしてもらうことになりました。

まず、29日はLI校での展示、投票が行われます。続いて翌週の6月5日にはWTA校で展示、投票が行われます。いずれも幼児部から高等部までの子どもたちによる無記名投票です。この結果を参考にし、更に選考委員会でデザイン関係の専門家の方にも入っていただき、検討した上で最終的な案に仕上げていくことになります。

応募してくださった保護者の皆様や児童生徒の皆様さん、ありがとうございました。皆さんの補習校大好き！という思いを結集していいものに仕上げていきたいと思います。

どうぞお楽しみに！

たこともありました。でも日本人とか、アメリカ人とか、そんなことは小さいことです、そうではなく、核兵器は人類を滅ぼすものであり、私たちは人類を守るために核兵器廃絶を訴えているのです。原爆の被害を受けた日本と原爆を落としたアメリカが手を取り合って核廃絶を訴えたら、これほど大きな力はないと思います。」

先生のお話の中で、特に印象に残った言葉は、「解決できない課題はない」、「核兵器も人間が作ったものだから、人間が集まって約束をすれば、必ず核兵器を無くせる」でした。このことは一人一人に核兵器廃絶に向けて意思を表明することを求めているようにも聞こえました。「核兵器を使ったら、人類が滅びる」とも話され、その思いがこうした活動の原動力になっているのだと想像されました。被爆者としては、一番若い世代になるとのことで、今後被爆者が高齢化していく中で、今回は大変貴重なお話を聞くことができました。子どもたち一人一人と握手され、思いを託しているように感じました。



住友生命主催

「第33回こども絵画コンクール」

先日、住友生命の方が事務所にお見えになり、昨年度開催された、絵画コンクールで本校の生徒二人の作品が見事優秀な賞をいただき、作品と賞品の額を持参してくださったのです。見るとカラフルなすてきな作品でした。

お話を聞き、またびっくりしたことがあります。それは、これらの入賞作品はルーブル美術館に一定期間展示されていたということでした。日本に行き、そしてフランスに渡り、また日本に、そしてニューヨークへとこれらの絵は、この間に遙々と海を渡り世界を一周してきたことになります。受賞をお祝いするとともに、今年も多くの皆さんに挑戦して欲しいと思いました。



CGの部銀賞 加藤 舞(LI校昨年度中3)

6月の予定

授業日	WTA校	LI校
6/5	絵画コンクール案内 校章展示・投票 〈合同運営協議会(LI)〉	絵画コンクール案内 6時間授業②(運動会練習)
6/12	幼初等部6時間授業②	運動会
6/19	初等部社会科授業①	(運動会予備日)
6/26		

お知らせ

先週号からBig AppleはHPで見ていただけるようになりました。カラーですので是非ご覧いただきたいと思います。

これからは基本的にはホームページでの配信になります。ただし、月末号は翌月の予定表が入りますので、印刷して配布する予定です。